

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2202142	生活文化特殊講座B Culture of Livelihood: Workshop B	酒井 健宏	専門	2	選択	3年前期集中

**科目の概要**

この授業では映像コンテンツの制作過程をワークショップを通して学修してゆく。グループで集中的に作業をして、一つの映像作品を作りあげる。今日、民生用ビデオカメラや動画撮影機能をそなえた携帯電話・スマートフォンが非常に広く普及しつつある。動画を用いたプレゼンテーションや自己表現なども次第に増えてきた。この授業ではスマートフォンやデジタル一眼レフカメラの動画撮影機能の仕組みや、コンテンツ制作のためのワークフローを理解することで、映像による表現を日々の必要に応じておこなうことができるようになることを目指す。

学修内容	到達目標
① 映像コンテンツ制作が一連の手順に従っておこなわれていることを学修・教育する。	① 映像コンテンツ制作の一連の手順について理解することができる。
② 映像コンテンツ制作の一連の手順を実際に体験することで実践力を養う。	② 映像コンテンツ制作の一連の手順に従って制作プランを立てることができる。
③ 制作を体験する中で各種の制作機器の活用法を学修・教育する。	③ 制作プランに基づいてグループで円滑に作業を進めることができる。
④ グループワークをおこなうことで協調性をとれないながら課題を達成する意義を学修・教育する。	④ 一連の作業をへて映像コンテンツ(作品)を完成させることができる。
⑤ 完成した映像コンテンツ(作品)を発表および鑑賞することで分析的に視聴する力を養う。	⑤ 作品の発表を通して映像を用いたプレゼンテーションやコミュニケーションの重要性を理解することができる。

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**

**学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	作品を完成させるという目標に向かって、企画の円滑な進行に積極的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	作品を仕上げるための手順を考え、機材の使用方法を確認しながら、最後まであきらめずに取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	よりよい作品にするためにはどうすればよいかについて、客観的な観点から見極めることができる。
	計画力	
	創造力	固定概念に捉われることなく、広い視野から企画を見つめ、自由な発想で作品を制作することができる。
チームで働く力	発信力	グループの内外でのアイデア出しや情報共有において、積極的に発言することができる。
	傾聴力	他者の発言や文章を、注意深く受け止め、誤解や先入観に捉われることなく、正確に理解することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義やグループ活動に支障をきたす行動をせず、円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト:特定のテキストは使用しない。必要に応じてプリント資料を配布する。  
参考文献:映像制作に関する簡単なマニュアルや機材の扱い方などを説明する書籍などを適宜紹介する。

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連:キャリア形成科目、生活スタジオ科目、卒業研究など。

学修上の助言	受講生とのルール
ごく短い期間で作品を制作するため、授業以外の時間をグループ内での簡単な打ち合せなどにあてる必要が生じる。それを事前に了承した上で受講すること。	グループワークでの作業が基本となる。そのため無断欠席は必ず避けるべきであることを承知の上で臨むこと。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験		①		
		②		
小テスト		①		
		②		
レポート		①		
		②		
成果発表 (口頭・実技)	25	①	完成した作品の全体発表を最終時間にグループごとに順番でおこなう。グループで協調し、企画の意図や作品のテーマを明瞭に説明できるかを評価する(グループ全員が企画意図や作品テーマを正確に理解し明瞭に説明できる:25点、グループ全員が企画意図や作品テーマを理解し丁寧な説明を心がけている:20点、説明に曖昧な点や相違が見られるものの発表の場で意見をまとめ上げる姿勢が見られる:15点)。	
		②		
		③		
		④		✓
		⑥		✓
作品	65	①	作品の完成度(特に高い:65点、完成度は高く表現にも工夫が見られる:55点、完成はしているが表現方法に工夫と努力が必要である:45点)	
		②		✓
		③		✓
		④		✓
		⑥		✓
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の完成に向けて積極的に取り組む態度を評価する。(主体性)</li> <li>・制作の手順に沿って機材を操作し、最後まであきらめずに取り組む態度を評価する。(実行力)</li> <li>・作品をより良いものにするために客観的な視点から考察する態度を評価する。(課題発見力)</li> <li>・広い視野から自由な発想をもって制作する態度を評価する。(創造力)</li> <li>・グループワークでのアイデア出しや情報共有にて積極的に発言する態度を評価する。(発信力)</li> <li>・他者の意見を注意深く受け止め、正確に理解しようと努める態度を評価する。(傾聴力)</li> <li>・ルールを遵守し、グループワークに支障をきたす行動を慎む態度を評価する。(規律性)</li> </ul> <p>・個々人の取り組みにおいて、受講態度が悪い場合(遅刻、欠席、私語、居眠り、学修意欲欠如、課題の未提出、グループ活動への非協力など)は減点する。(規律性)</p>	
		②		✓
		③		✓
		④		✓
		⑤		✓
その他		①		
		②		
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
映像コンテンツ制作の手順を理解し、制作プランに忠実に、円滑に作業を進めながら、良好なグループワークを実行した結果、作品を完成させることができるものをA(優)とし、なおかつ企画意図や作品テーマを明瞭に説明することができ、作品の完成度が特に高いものをS(秀)とする。	映像コンテンツ制作の手順を理解し、制作プランになるべく忠実に作業を進め、良好なグループワークを実行した結果、工夫がこめられた作品を完成させ、企画意図や作品テーマを説明できるものをB(良)とし、一応の完成はしているもののさらなる工夫や努力が必要であると判断されるものをC(可)とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション／課題の概要と作品完成までの一連のプロセスについて説明を聞き、この授業の全体像を把握する。	講義	授業の概要、受講上のルールを理解し、学修に臨む姿勢を形成することができる。	授業内容の概要を確認し、能動的に授業に臨む準備をする。	180	規律性 主体性
2週 /	制作に向けた事前準備／グループ分けを円滑におこない、各グループで作品のアイデアを出し合う。	講義 グループ討議	映像コンテンツ制作の手順を知り、グループワークの意義を理解することができる。	講義内容をよく聴き、どのような作品にすべきか広くアイデアを出し合いながら議論する。	180	主体性 実行力 創造力
3週 /	シナリオ作成(1)／作品の全体的な構成を考え、シナリオを作る。	講義 グループ討議	映像コンテンツ制作におけるシナリオ(台本)の必要性を理解することができる。	講義内容をよく聴き、アイデアを出し合いながらシナリオの作成を滞りなくおこなう。	180	主体性 実行力 創造力
4週 /	シナリオ作成(2)／グループで話し合い、より綿密にシナリオを練り上げる。	グループ討議	シナリオ(台本)の内容を創造的に考案することができる。	グループで設定した制作スケジュールを守り、アイデアを出し合いながらシナリオの作成を滞りなくおこなう。	180	主体性 発信力 傾聴力
5週 /	撮影準備(1)／カメラの扱い方と機材の特徴を知り、テスト撮影をおこなう。	講義 グループ活動	撮影に際して使用する機材の扱い方の基礎を修得することができる。	講義内容をよく聴き、機材の使用方法を忘れないようにメモする。	180	主体性 実行力
6週 /	撮影準備(2)／撮影に必要なその他の機材や道具などを準備・調達し、撮影のスケジュールを精確に立てる。	講義 グループ活動	撮影に際して必要な備品をリストアップし、撮影のスケジュールをグループで調整して話し合うことができる。	講義内容をよく聴き、撮影に向けた準備を滞りなくおこなう	180	主体性 発信力 傾聴力
7週 /	撮影(1)／作成したスケジュールに沿って円滑に撮影をおこなう。	グループ活動	グループで調整して撮影に臨むことができる。	グループで設定した撮影スケジュールを守り、協力しながら滞りなく作業をおこなう。	180	主体性 課題発見力 創造力
8週 /	撮影(2)／撮影時の天候や時間帯の変化に臨機応変に対処しながら撮影を続行する。	グループ活動	グループで調整して撮影に臨むことができる。	グループで設定した撮影スケジュールを守り、協力しながら滞りなく作業をおこなう。	180	主体性 課題発見力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	撮影(3) / 撮り忘れがないかを確認し、必要に応じて追加撮影をおこなうことで撮影を完了する。	グループ活動	グループで協調して撮影に臨むことができる。	グループで設定した撮影スケジュールを守り、協力しながら滞りなく作業をおこなう。	180	主体性 課題発見力 創造力
10週 /	編集準備(1) / 映像編集の基本的な方法を知り、撮影データの確認と整理をおこなった上で編集作業のプランを立てる。	講義 グループ活動	映像編集において使用する機材・ソフトウェアの扱い方の基礎を修得することができる。	講義内容をよく聴き、グループで設定した編集スケジュールを守りながら、協力して作業にあたる。	180	主体性 実行力 傾聴力
11週 /	編集準備(2) / 音声編集の基本的な方法を知り、必要となる音声データを調達・調整する。	講義 グループ活動	音声編集において使用する機材・ソフトウェアの扱い方の基礎を修得することができる。	講義内容をよく聴き、グループで設定した編集スケジュールを守りながら、協力して作業にあたる。	180	主体性 実行力 傾聴力
12週 /	編集(1) / シナリオに従って丁寧に映像の編集をおこなう。	グループ活動	グループで協調して編集に臨むことができる。	グループで設定した編集スケジュールを守り、協力しながら滞りなく作業をおこなう。	180	主体性 課題発見力 創造力
13週 /	編集(2) / シナリオに従って丁寧に音声の編集をおこなう。	グループ活動	グループで協調して編集に臨むことができる。	グループで設定した編集スケジュールを守り、協力しながら滞りなく作業をおこなう。	180	主体性 課題発見力 創造力
14週 /	編集(3) / 必要に応じて映像に各種のエフェクト処理を追加した後に、作品の完成に向けた最終チェックをおこなう。	グループ活動	グループで協調して編集に臨むことができる。	グループで設定した編集スケジュールを守り、協力しながら滞りなく作業をおこなう。	180	主体性 実行力 創造力
15週 /	成果発表とまとめ / 完成した作品を上映し、各グループで鑑賞・相互評価をおこなう。	グループ発表 質疑応答	作品を完成させ、上映と鑑賞を通して、工夫した点や努力した点について考察することができる。	作品の完成の目処をつけ、すみやかに発表・鑑賞に臨むための準備をおこなう。	180	主体性 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力